

指定管理者制度管理運営評価シート

施設名称	山北やまゆり学童保育所、山北はまゆり学童保育所	評価対象年度	平成 29 年度
指定管理者名	特定非営利活動法人おたすけさんぼく	所管課	山北支所地域振興課
指定期間	平成29年4月1日～平成32年3月31日(3年)	評価者(課長)	斎藤 一浩

①事業実績

利用実績	山北やまゆり学童保育所(年度末在籍数:28名)年間延べ利用者数5,895名 山北はまゆり学童保育所(年度末在籍数:6名)年間延べ利用者数1,276名 合計 45名 7,171名
サービス向上の取り組み	月刊通信の配布及びホームページや広報物への掲載により学童保育の活動の様子を知らせた。また、利用者のニーズを把握し今後の運営に活かすため、保護者を対象にアンケート調査を実施した。(自主事業)おやつ会計、お泊り会、いも煮会、クリスマス会、どんど焼き、節分豆まき、学童こどもまつり等

②管理経費

区分		前々年度	前年度	当該年度 (29年度)	合計	備考
収入	指定管理料			10,549	10,549	H29～H31協定額:30,978,000円
	利用料金			2,332	2,332	
	自主事業収入					
	その他					
	計			12,881	12,881	
支出	管理経費			12,447	12,447	
	(うち人件費)			11,005	11,005	
	(うち光熱水費)			381	381	
	(うち修繕費)			15	15	
	(うち委託料)			164	164	
	自主事業費					
計			12,447	12,447		
差引				434	434	

③評価

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
管理運営 針管基本方	基本方針の理解・周知	公の施設としての性格や管理運営の基本方針を理解し、利用者やスタッフへ周知しているか	10	5	10.0
		利用者の立場に立ち、公の施設として市民の平等な利用を確保する運営を行っているか			
(評価理由)					
①ホームページや広報物への掲載により、学童保育の開設状況を開示している。 ②指導員の資質向上に努めた(研修会への参加、情報誌の定期購読による情報収集、指導員同士の緊密な情報交換)					
サービス向上及び業務改善	適切なサービスの提供	提供すべきサービスが仕様書や事業計画に基づいて適切に提供されたか	10	5	10.0
		サービス向上、利用促進への具体的な取り組みがされているか			
		利用者への情報提供を適時かつ十分に行っているか			
	業務改善によるサービス向上	事業計画とサービス提供に差異が生じている場合、原因究明に必要な取り組みがなされているか	10	5	10.0
		業務改善が必要な場合、現状分析、課題把握、改善策の検討と実施が行われ、効果が表れているか			
利用者の意見・要望への対応	利用者アンケート等を適切に実施・分析し、利用者ニーズの把握に努め、満足度向上のための具体的な取り組みに反映させているか	8	5	8.0	
	利用者からの苦情や意見に対して、迅速かつ適切に対応しているか				
自主事業の実施状況	利用者へサービス向上につながる自主事業を実施しているか 利用者のニーズを踏まえた自主事業を実施しているか	4	5	4.0	
(評価理由)					
①放課後児童を毎日受け入れ、土曜日や夏休み等の長期休業日、学校振替日や学級閉鎖時においても、休まず受け入れを行っている。 ②多彩な自主事業を実施し、地域住民や卒園生、関係機関等にも参加を呼び掛けて交流するなど、地域との関わりの中で児童の育成を行っている。 ③地区文化祭への出品、老人施設慰問などに積極的に取り組んでいる。 ④利用者のニーズを把握し今後の運営に活かすため、保護者を対象にアンケート調査を実施した。					
収支計画・実績	効果的・効率的な支出	計画に基づく適正な支出が行われているか	10	5	10.0
		支出に見合う効果は得られているか			
		経費縮減の具体的な取り組みはされているか			
適切な会計管理・手続き	収入金を区分し、適切に管理を行っているか	8	5	8.0	
	指定管理業務に関して口座を分け、適正な会計処理がなされているか				
(評価理由)					
①光熱水費、修繕費等の縮減に努め、適正に執行していると判断できる。 ②収支の管理についても適正と判断できる。					

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
組織管理体制	適切な人員配置	必要な人員(人数・有資格者等)が必要な場所に適切に配置されているか	4	5	4.0
	連絡・連携体制	定期または随時の会議等によって所管課との連絡・連携が十分に図られているか	4	5	4.0
	再委託管理	再委託先との連携調整が適宜・適切に行われ、業務の履行についても適切な監視・確認がなされているか	4	5	4.0
	担当者のスキルアップ	業務知識や安全管理、コンプライアンスに関する研修が定期的に行われ、スタッフのスキルとして浸透しているか	4	5	4.0
	安心・安全への取り組み	事件・事故、犯罪、災害から利用者を守ることができる適切な安全管理体制となっているか(人員配置、マニュアル、訓練等)	4	5	4.0
	コンプライアンス	個人情報保護、その他の法令順守のルール(規則・マニュアル等)と管理・監督体制が整備され、適切な運用がなされているか	4	5	4.0
	(評価理由) ①やまゆり(28名→2名+加配支援員2名体制)、はまゆり(6名→2名+加配支援員1名体制) ②(地震、津波、火災、不審者)避難訓練を実施している。				
適正な業務実施	施設・設備の保守管理	安全な利用に支障をきたすことのないよう、施設・設備の保守点検や整備等を適切に実施しているか	8	5	8.0
	警備業務	施設内及び敷地内の警備が適切に行われ、事件・事故、犯罪等の未然防止に役立っているか	4	4	3.2
	備品管理	設備・備品の整備や整頓、利用者使用する消耗品等の補充が適切に行われているか	4	4	3.2
	(評価理由) ①月1回、施設内外の目視点検を実施している。				

④総合評価

評価点合計	98.4	評価ランク	S
-------	------	-------	---

⑤管理運営に対する全体的な評価

放課後児童の安全保育と健全育成を第一に考えて、地域との交流や自然・文化体験を取り入れた様々な事業に取り組んでおり、保護者からの信頼も厚く素晴らしいと感じている。はまゆり学童保育所の定員超過により一部の児童を小学校から送迎によりやまゆり学童保育所で保育しているが、受入体制を整え円滑に行っている。また、特別な支援が必要な児童の保育についても加配支援員3名の配置により適切に行ったと思われる。

⑥次年度の管理運営に対する指導事項等

現在の管理運営体制の維持に努めていただきたい。

記入要領

- ・「評価段階」は5段階(5～1)により評価を行うこと。
- ・「評価点」は、配点に以下の評価段階による係数を乗じて算出すること。

評価段階	評価点係数
5	1.0
4	0.8
3	0.6
2	0.4
1	0.2

- ・「評価ランク」については、評価点合計により以下のとおりとする。

評価ランク区分	
S	95.0以上
A	80.0以上95.0未満
B	60.0以上80.0未満
C	60.0未満